

NO. 4 のテーマ  
「キーボード  
入力のスキル」

# けいこく G I G A 通信



令和4年2月17日(木) NO.4 京築教育事務所教育指導室

子どもたちが、いつでも**学習道具(文房具)**として1人1台端末を活用できる状況になっていますか？  
また、日常的に子どもたちのキーボード入力のスキルを高めるための取組を行っていますか？  
No.4 では、**キーボード入力のスキル**をテーマに、その必要性や高めるための方策について紹介します。

## どうしてキーボード入力のスキルが必要なの？

2018年のPISA調査はコンピュータを用いて行われ、日本の高校生の順位が大幅に低下しました。この結果から、「コンピュータの操作スキルの未習熟が読解力低下に影響した」という文部科学省の考察が出され、**情報活用能力**が言語能力と同様に**学習の基盤となる資質・能力**として学習指導要領に位置付けられました。

しかし、子どもたちの生活の中にはキーボード入力を学ぶ機会がほとんどなく、「**学校で**」学ばない限り、キーボード入力の力を身に付けるのは難しい現状です。キーボード入力は特別な「能力」ではなく、学校で「**経験**」を保障すれば、誰でもできるようになります。子どものスキルが向上すると、検索や表現活動等における文字入力の**時間が短縮**され、他の様々な学習活動を設定することも可能になります(下記参照)。

### 【従来の手書きの作文の授業】

- 45分で書ける文字数は上位群でも400字程度。
- 修正は、消しゴムで何度も消すと汚れてしまい、朱書きで修正すると消せないため何度も修正できない。

### 【ICTを活用した作文の授業】

- スキルが高まると、10分で400字程度は書ける。
- 書いた後に話し合いや添削、修正の時間を多くとることができ、**修正は何度でも簡単に**できる。

東北大学大学院の堀田龍也教授は、キーボード入力のスキルについて次のように述べています。  
「諸外国では、キーボード入力を用いてのコミュニケーションは、すでにごく当たり前のことです。子どもたちが**世界と一緒に働いていく**ために、まず自国の言葉で、**キーボード入力によるコミュニケーション**を習得しておくことは大変重要だと言えるでしょう。」

## どうやってキーボード入力のスキルを高めたらいいの？

### ステップ1

#### 基礎・基本を全体指導

- ・ローマ字指導と並行して実施
- ・初めは**速さを求めず**、ホームポジション、指使い等を丁寧に指導

### ステップ2

#### 個人で毎日繰り返し練習

- ・**帯の時間**や**隙間時間**を使って
- ・タイピングソフトで**楽しみながら**
- ・1分間に○文字など**目標**をもたせて
- ・端末を持ち帰って、**家庭**でも

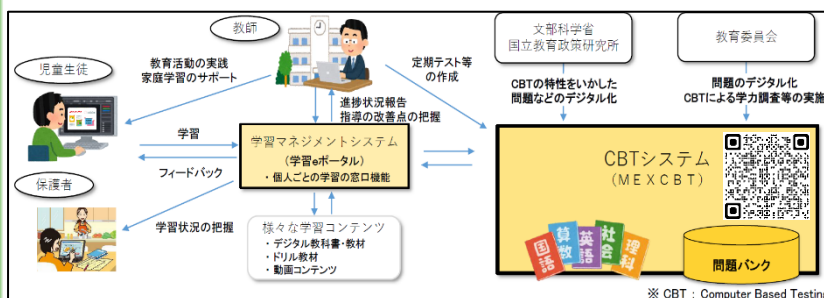
### ステップ3

#### 授業の中でキーボード入力

- ・まずは、**授業の振り返り**から
- ・文書作成ソフトやプレゼンテーションソフト等を使って、**自分の考えを表現**することにも挑戦

京築管内には、「タイピング検定試験」を実施したり、級表を掲示しその級に合格出来たらシールを貼ったりするなど、子どものキーボード入力のスキル向上に向けて**学校全体で**取り組んでいる学校もあります！

## 「MEXCBT (メクビット)」ってご存じですか？



「MEXCBT (メクビット)」とは、国や地方公共団体等が作成した問題を蓄積し、学習者が**インターネット経由でテストを受けられるクラウドサービス**のことです。

**全国学力・学習状況調査**においても、2024年度(令和6年度)から順次**CBT(コンピュータを用いたテスト)**が導入される予定です。

令和4年度の活用については、改めて募集がありますので、CBTに慣れるためにも是非御活用ください。

※ CBT : Computer Based Testing